

技

～技術とともに～

当社を支える技術者が、日々、どのような思いで業務に携わっているかを皆様にお伝えするリレー企画です。E-ディフェンスを中心に技術支援を実施している当社の技術者が、いかに技術を学び、習得し、そして生かしているかをお伝えし、当社が取り組む業務への、信頼性の高さを感じ取って頂ければと思います。

人物紹介



私は当社設立時(平成16年)よりお世話になっています。主な業務は各装置、機器類の保守点検・補修、高圧ガス設備の保全等、各装置および機械係等全般のメンテナンスに携わっています。当施設は大量の油脂類を使用するため、依りきめ細かな点検等により、トラブルの未然防止に努めるよう若手社員に負けないよう日々の業務に取り組んでいます。

「私が保有する資格・免許について」

施設管理部 機械・電気グループ 鈴木 政宣

前職在籍時に業務上危険物(乙4)の資格が必要と上司より資格取得の指示がありました。試験を受けるため、危険物の教本を先輩に借りて内容を見ると解らないことが多く、安全協会主催の講習に参加、試験を受け何とか資格を取得しました。

講習を受ける中で危険物の種類、毒性、爆発性等危険物の性状、化学計算式に必要な元素の質量、スプレー缶、軽油・灯油等についても保管場所、取扱い時の制約を受けるなど危険物の講習を受けなければ判らなかった事等多くの知識を得ました。

現在、三木市防災公園内にある防災科学技術研究所(E-ディフェンス)の施設維持管理業務に携わっています。当施設は大量の油脂類、大量の高圧窒素ガスを必要とするため、CEおよび充てんポンプ等の製造装置が設置してあり、危険物一般取扱所、高圧ガス製造事業所に指定されています。そのために高圧ガス保安法、危険物保安法の適用を受け、危険物取扱い資格および高圧ガス製造保安責任者の資格が必要となります。危険物の取扱いに関しては、前職在籍時の業務で得た経験を生かし現業務で有効に活用しています。

高圧ガスに関しては、震動実験総合エンジニアリング(株)入社後、高圧ガス保安製造責任者の資格取得に挑戦、取得に当たり高圧ガス保安協会主催の講習に参加、学識・保安・法令関係の講習を受け、学識・保安関係は合格し残るは法令だけと甘く見て本試験に挑みましたが失敗、翌年再挑戦し無事資格を取得しました。その後保安係員として、液化窒素の受け入れ、アキュムレータへのガス補充計画、日常点検、新人教育、保安教育計画、CE等製造設備の保安検査計画と実行と安全管理等の業務を行っています。

また、加振実験用試験体製作時等においては、不特定多数の工事会社、試験関係者が入構され製作作業に携わっておられます。特にアセチレンガス、酸素ボンベ等種々の高圧ガス、危険物等を業者さんが持込まれるため、持込まれた危険物等についても保安講習等で得た知識を活用し、ガスの種別、員数、保管方法等管理および点検を徹底して行い、より安全な作業、事故を起こさないよう適切な指示、指導して行きたいと思いをします。



(高圧ガス製造設備)

加振試験を行う際、油圧ポンプで昇圧した高圧の油を大量に使用します。昇圧した油は本装置(アキュレータ)内に蓄圧して加振時に放出する訳ですが、放出させるパネとして窒素ガスをアキュレータ内に充填しています。充填されたガス温度によって蓄圧量、放出速度等が変わります。そのために、試験前にはガス温度、充填圧力のチェックが必要になります。本装置は、高圧ガス保安設備に指定され、法令により日常点検が義務づけられています。高圧に圧縮されたガス、油等非常に危険なため、バルブ、取付機器等異常有無の点検と加振試験前のガス温度、充填圧力の確認を行っている所です。

四季の趣味便り



元業務支援室 小池 明士

E-ディフェンスの開発に携わって以来20年、単身三木に来て15年、師匠宅の門を潜って10年が経ちます。当時テレビ番組のBGMとして流れていた曲にこころを打たれ、「こんな曲が吹ければいいなあ」と思ったのが尺八を始めたきっかけでした。あれは確か「琥珀の道」という曲で、当時売出し中の「和楽器の貴公子」と言われた藤原道山さんの曲であったと思います。最近でもよく流れている曲ですので皆さんもお聞きになったことがあるかも知れません。首ふり3年と言いますが、シンプルな楽器ほど扱いが難しいようで、当初は悪戦苦闘の連続でした。尺八には職格というものがあり、初伝、中伝、奥伝、皆伝、准師範、師範、大師範、竹琳軒という具合です。入門から5年程して漸く准師範に合格し、師範試験受験直前でしたが、この度の任期満了をもって会社を去ることとなりました。E-ディフェンスの運用開始、サイテック業務開始から10年が経過しますが、それと私の尺八三昧も同じく10年です。尺八三昧は今後も継続し一日も早く師範の免許が取れるよう精進します。E-ディフェンス、サイテックとも今後とも未永く世に役立つものと確信していますが、皆さんにも未永く付き合える趣味を持たれることをお勧めし、お別れの挨拶に代えさせていただきます。永らくお世話になりありがとうございました。



尺八三昧 (10年を振り返って)

編集後記

定期点検が完了し、震動実験が実施されています。今年度は、実験回数も増えており、安全にかつ精度良く安定して装置稼働するように、社員一同保守・点検にも一段と気を引き締めています。今月号では、実験前

の各機器、動作確認の様子を紹介します。震動実験を円滑に遂行するために、一丸となって努力している姿を見ていただければ幸いです。

(編集者一同)

SEITEC

サイテック 震動実験総合エンジニアリング株式会社

August

第3号

平成27年 8月1日発行

■本社 〒673-0532 兵庫県三木市緑が丘町中一丁目11番15号 TEL.(0794)87-7320 FAX:(0794)84-2135
■業務支援室/施設管理部 〒673-0515 兵庫県三木市志染町三津田西亀屋1501-21 兵庫耐震工学研究センター内 TEL.(0794)87-8305 FAX:(0794)87-8306 http://sei-tec.co.jp

社是

- 顧客満足の信念に徹し、社業を通じて国家・社会の繁栄に寄与する
- 安全確保を旨とし、技術力の研鑽に努めて常に質の高いサービスを提供する

行動理念

- 相手の立場を尊重し、常に謙虚な気持ちを持って顧客との対話、仲間との対話に努め、誠実に対応する。
- 設備との対話を通じ、常にその最良の状態を維持する。
- 何事においても柔軟な発想をもって取り組み、日々新たなることに努める。

この度、当社の代表取締役社長に就任いたしました船橋と申します。前任社長に對すると同様、引き続き、皆様方の温かいご指導、ご鞭撻を賜れば幸いです。さて、タイトルですが、私はこの一、二年「ハイブリッド」という言葉が飛び交う中で勤務してまいりましたので、今回は、このタイトルにしてみました。私は本年三月末までである高等専門学校(高専)の校長職にあり、「ハイブリッド型人材」の育成に向けた学科再編を進めておりました。同校では、機械など四つの専門工学科において基礎工学教育を行っており、複合分野や分野間連携などに対応できているかという課題がありました。その背景は、「日本は、単品の技術は優れていてもグローバルビジネスでは苦戦を強いられる場面も多々あり」、「その克服のためには、企画力、マーケティング力等の強化に加え、複合分野の技術の融合やサービスと技術の融合など、アイデアを駆使していくことが重要。」などといったことです。そこで、ハイブリッド型人材の育成です。ハイブリッドは「雑種」のことですが、私は、「より高いオリティを旨とした異種融合」

したいということでした。翻って、当社は兵庫県三木市にある「大三次元震動破壊実験施設(E-ディフェンス)」の運転、維持管理、点検や実験支援等を実施しておりますが、機械、電気、情報、制御、計測など様々な分野の技術を結集して業務を行っております。その意味で、会社全体が「ハイブリッドエンジニアリングカンパニー」と言えます。社名の「総合エンジニアリング」がそれを表しております。当社としましては、こうしたハイブリッド力により、引き続き、E-ディフェンスの支援業務を強力かつ着実に実施していきたいと考えております。一方で、ハイブリッドエンジニア集団である当社としては、持てる力をフル回転し、地元の皆様をはじめ、より多くの皆様方のお役に立ちたいと考えております。小さな会社ではありますが、誠心誠意努めさせていただきますので、技術でお困りのことなどありましたら、是非とも当社にお任せください。どうぞ、今後とも、未永く、よろしくお願ひ申し上げます。



ハイブリッド

震動実験総合エンジニアリング株式会社 (SEITEC : Seismic Testing & Engineering Corporation)

代表取締役社長 船橋 英夫

と捉えております。あくまで自身のコアの専門分野は機械なり電気ですが、他の分野の知識があれば、そこから新しいアイデアや人的ネットワークが広がり、ビジネスに必ずやプラスに働きます。そうした人材の育成を目指

防災意識の向上を目指して!!

消防避難訓練の紹介です



◆三木消防署指導による 消火器取扱い訓練(6月実施分)



◆負傷者の担架搬送訓練(6月実施分)

施設、機械設備や電気設備の運用管理などでお困りの方は、ぜひ当社へご相談下さい。当社がこれまでに培った総合力を発揮して、全力で支援します。 <http://sei-tec.co.jp>

サイテックの安全管理活動

無災害+記録：1,405,757時間

継続中

◆施設では、下記の施工サイクルで日々の安全活動を推進しています。



はじめまして!!
安全マスコット人形です。

活動サイクル	時間	実施項目
日常活動	<ul style="list-style-type: none"> 8:30~8:45 8:45 随時 11:30~12:00 (必要時) 13:00~13:10 随時 17:20~17:30 (終業時) 	<ul style="list-style-type: none"> 全体朝礼 作業開始 安全教育 混在作業調整会議 安全昼礼 安全パトロール 4S励行、終業報告
週間活動	<ul style="list-style-type: none"> 金曜日 13:00~16:00 水曜日 10:00~11:00 	<ul style="list-style-type: none"> 対話パトロール 週間工程会議
月間活動	<ul style="list-style-type: none"> 月1回(1日) 8:40~9:00 月1回(月末) 13:10~14:00 	<ul style="list-style-type: none"> 安全大会(実演) 災害防止協議会



《全体朝礼》

《安全教育》

震動台の本格運用へ向けて 定期点検完了

震動実験を円滑に遂行するため各装置の定期点検を実施しました

定期点検完了後、今年度の本格的な震動実験がスタートします。

計測装置
保守点検

映像装置
保守点検

実験前の各装置の動作確認
の様子をご紹介します

総合性能試験